

7月18日 | 水のカーテンで真夏日も消火

金谷消防署で「防火のつどい」が開かれ、金谷地区の幼稚園・保育園に通う子どもたちが、火の怖さや花火の正しい楽しみ方を学びました。

避難訓練では、火災時の延焼防止や避難経路の確保に使用される水幕ホース（ウォーターカーテン）を体感。水が噴き出す様子に歓声を上げながら、みんなで水のカーテンの間を、気持ち良さそうに走り抜けました。



7月12日 | 甘酸っぱい太陽の恵み

神座地区で、ハウスミカンの収穫が始まりました。今年の作柄は、やや小ぶりながらも、色も糖度も十分。甘くておいしいミカンができました。

この日、北川憲一^{けんいち}さんのハウスでは、約200kgを収穫。約120本の木に鈴なりに実った早生品種「高林」を、一つずつ丁寧に摘み取りました。今後は「宮川」「興津」と、早生ミカンの収穫が9月中旬まで続きます。

7月26日 | 平和の願いを後世に

昭和20年7月26日、扇町に原爆の模擬弾が投下され、死者47人、負傷者約200人を出した「島田空襲」。その悲惨さと、平和の尊さを後世に伝えていこうと「扇町被爆者慰霊のつどい」が扇町公園で開かれました。

式典では、遺族代表の相澤宏幸^{あいはろひろゆき}さん、島田第二小学校4年の持塚基翔^{もちづかきしょう}さんと6年の鈴木暁也^{すずきとしや}さんの3人が「戦争は二度としてはいけない」と平和の誓いを述べました。





7月14日 | 観光PRはお任せください

プラザおおりで「さわやかしまだコンテスト」が開催されました。選ばれたのは、牧野祥子^{まきのさちこ}さん（写真左：金谷根岸町）、並木梨恵^{なみきりえ}さん（中：野田）、小薮愛佳^{こやぶあいか}さん（右：川根本町・市内在勤）の3人。8月10日の大井川大花火大会が初仕事となります。

第9代さわやかしまだは市内外で、島田市の観光PR役を2年間担ってくれます。

7月27日 | 島田の名産を身にまとい誕生

島田市商工会が、市の活性化とPRを目的に、全国から公募したキャラクター「おしまちゃん」の着ぐるみが完成しました。全身で島田を表現している彼女は、今後さまざまな行事で、島田を全国に発信してくれる予定です。

おしまちゃんは、島田髷に市章のかんざし、バラと茶葉の髪飾りを着けた女の子。大井川とSLをイメージした着物と帯を身にまとい、お茶の色の法被を着ています。



7月17日 | 日焼けと泥で真っ黒

六合幼稚園の年中・年長児が、東町の田んぼでどろんこ体験をしました。園児たちは、あぜ道に整列。水を張った田んぼにはだして入ると「冷たい」「気持ちいい」と声を上げながら、走り回りました。

色とりどりの帽子は、あっという間に泥だらけ。それでも、普段できない泥遊びを、思いっきり楽しんだ子どもたちは、満面の笑顔でした。